

アジア経済交流推進事業視察ツアー（ベトナム・ミャンマー）について

- 1 日程 令和元年11月11日（月）～16日（土）（4泊6日）
- 2 訪問者 片峯市長、上野議長  
国際政策課：課長 長谷川 司、課長補佐 今林 直久  
商工観光課特産品振興係長 山本 恵一郎  
公募（9/2～9/17）で申込のあった企業等12名 以上17名
- 3 訪問の目的
  - (1) 外国人技能実習生の送出し機関における教育訓練施設等の視察
  - (2) 販路拡大事業及び企業進出に向けた現地政府機関及び企業等の視察
- 4 視察の概要

日 時	訪 問 先	概 要（要点のみ）
11月12日 （火） 9時00分～ 14時00分	【送出し機関】 ・JVNET 外国語教育センター ・JVNET 本社	技能実習生受入れについて検討している企業が実際に教育環境を視察することで、今後の参考とさせていただくとともに、飯塚市への優秀な技能実習生の送出しについての確認を行った。
11月13日 （水） 10時00分～ 10時30分	・双日ベトナム会社	双日は1978年（昭和53年）からベトナムとの貿易を開始。現在、双日が行っているベトナム国内での事業展開について説明を受け、今後市内の企業が海外進出や販路開拓に取り組む際の協力・相談を承諾される。
11月13日 （水） 10時30分～ 11時00分	・JETRO ハノイ事務所	ベトナムの経済状況や外国資本（日系企業等）についての説明を受け、今後もまだチャンスがあることや、企業が販路拡大や海外進出を検討される際の支援策等についてのアドバイスを受けた。
11月13日 （水） 11時00分～ 11時45分	【日系企業との意見交換】 ・キャノンベトナム ・ホンダベトナム	日本との文化の違いや、現地におけるベトナム人の雇用（両企業ともに1万人以上を雇用）についての説明、労務管理上の問題点など具体的な説明を受けた。

日時	訪問先	協議内容（要点のみ）
11月13日 （水） 13時00分～ 13時30分	・ハノイ市投資・商業・観光促進センター	ハノイ市人民委員会（日本での市議会にあたる）傘下の投資誘致関連部署を統合して2015年（平成27年）1月に設立した投資誘致機関で、ハノイ市の外国企業による投資や商業活動の拡大、また観光等を一元的に促進する機関。飯塚市の中小企業がベトナム進出する際の協力について確認を行った。
11月13日 （水） 14時00分～ 15時00分	・ベトナム海外労働管理局	労働、雇用及び職業訓練等に関する国家行政を担当するベトナムの政府省庁。 国としての方針や今後の見通しによる技能実習生の受け入れについてのアドバイスをいただいた。
11月14日 （木） 10時30分～ 11時30分	・在ベトナム日本国大使館	ベトナムの指導体制、税制度、教育制度、格差社会の現状等についての説明を受ける。また、ベトナムの経済成長の柱は貿易と外国資本であり、海外進出や販路開拓においては、ハノイ市など都心部より周辺地域にビジネスチャンスがあるなど、海外事業展開に関するアドバイスをいただいた。
11月15日 （金） 9時00分～ 11時00分	【送出し機関】 ・J-SAT 本社	J-SATは1998年（平成10年）設立。日本へ介護人材や技能実習生の送出しを行っており、ミャンマー国民上位8%の大学入学者の内、さらに20倍の合格率から厳選された生徒を研修生として受入れて育成し、日本へ送出ししている。ミャンマー政府の認可を受けた送出し機関のパイオニア。
11月15日 （金） 11時00分～ 11時30分	・JETRO ヤンゴン事務所	ミャンマーの経済状況や教育制度、企業が販路拡大や海外進出を検討される際の支援策等についての説明やアドバイスを受けた。また、ミャンマー人の良い点や悪い点など具体的な話をお聞きした。